

その他ウ

開催要項

令和4（2022）年度

コレクション展第Ⅲ期

旅におもいを馳せて

生まれ育った故郷や、記憶に残る思い出の場所、あるいは旅先で出会った新鮮な景色など、作家たちは心にとめた風景を描き出してきました。そこには、眼前に広がる光景をただ捉えるだけでなく、作家の感性や解釈によって新たな風景が立ち現れ、作品を通じて作家の視点を辿る追体験をすることができます。

連綿と続く時間の流れとともに、その地の景色は変化し、歴史や生命の営みは痕跡となって風景に溶け込む一方、そこには普遍的な本質が内包されているのです。歌人の足跡を辿るため各地を旅した松尾芭蕉による、あまりにも有名な『おくのほそ道』の序文「月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也。」では、永遠と続く月日や過ぎ去り再びやってくる年月を旅人になぞらえ述べられています。

本展では、世界各国の遺跡や集落を巡り、その地域の歴史やかつて営まれた人々の暮らしの痕跡や気配、生命の魂を描き出す画家・難波平人の約60年におよぶ画業を辿る特別展「難波平人―世界集落、その魂を描く」に関連して、当館コレクションから旅や風景、時をテーマに展覧いたします。

会 期 | 2022 年 10 月 12 日（水）—12 月 4 日（日）

開館時間 | 9:00—17:00 [ただし 10 月 28 日（金）、11 月 25 日（金）は 19:00 まで開館]

会 場 | 2F 展示室 B

観 覧 料 | 一般 300 円、大学生 200 円、高校生以下無料

■関連イベント

クロストーク「坊一雄《クラマルの街》の修復について」

出品作品・坊一雄《クラマルの街》の修復を担当した若林涼華氏と担当学芸員が、その修復過程を中心に、描かれた風景について語りあいます。

日時：2022 年 11 月 26 日（土）14：00～14：30

講師：若林涼華（修復家／K.S 美術修復工房）

大山真季（当館学芸員）

会場：2F 展示室（要観覧券）

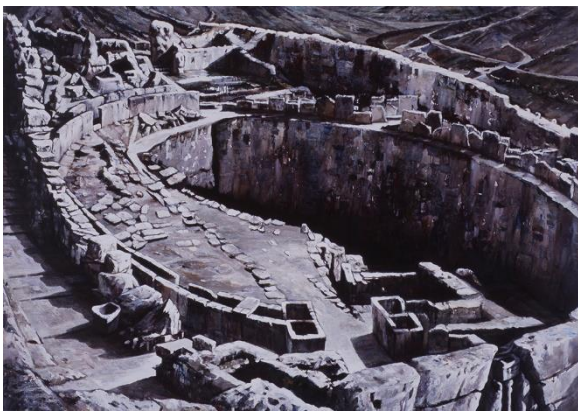
■ 出品作品



川西英《古道具屋》1945



坊一雄《クラマルの街》1929



難波平人《遺郷》1999



高原洋一《時の破片 2001 Fa》2001



三輪 龍氣生《黒陶 騎士の休息》1995